

資 料

特別支援学校（聴覚障害）におけるコミュニケーション手段と教材活用に関する 現状調査（国語科）

(1)基本情報

表 1 回答数

	小学部	中学部	高等部
有効回答数（総回答数）	150(161)	120(130)	96(111)

表 2 教職・聾学校・小学部経験年数

N=150（数値は%）

経験年数	0～3 未満	3～6 未満	6～9 未満	9～12 未満	12～15 未満	15～18 未満	18～21 未満	21 以上
教職	12.0	9.3	6.7	9.3	12.7	5.3	14.7	30
聾学校	26.0	20.0	14.7	13.3	8.7	6.0	5.3	6.0
小学部	30.0	23.3	12.8	13.3	6.7	5.3	3.3	5.3

表 3 教職・聾学校・中学部経験年数

N=120（数値は%）

経験年数	0～3 未満	3～6 未満	6～9 未満	9～12 未 満	12～15 未満	15～18 未満	18～21 未満	21 以上
教職	10.0	6.7	5.8	7.5	8.3	5.0	14.2	42.5
聾学校	25.8	20.8	15.8	14.1	8.3	5.8	2.5	6.7
中学部	34.2	26.7	20.0	5.8	7.5	0.8	0.8	4.2

表 4 教職・聾学校・高等部経験年数

N=96（数値は%）

経験年数	0～3 未満	3～6 未満	6～9 未満	9～12 未 満	12～15 未満	15～18 未満	18～21 未満	21 以上
教職	4.2	8.3	1.0	9.4	8.3	8.3	13.6	46.9
聾学校	35.4	17.7	20.8	12.5	4.2	5.2	1.1	3.1
高等部	29.2	19.8	13.5	13.5	7.3	6.3	2.1	8.3

表 5 国語科の教育課程

小学部 N=150、中学部 N=120、高等部 N=96（数値は%）

	準ずる	下学年適用	知的代替	自立主
小学部	81.3	10.7	6.0	2.0
中学部	85.0	10.8	4.2	0
高等部	90.6	5.2	4.2	0

表6 使用コミュニケーション手段

小学部 N=150、中学部 N=120、高等部 N=96 (複数回答・数値は%)

	聴覚口話	手話付き スピーチ	日本手話	筆談	キュード スピーチ	指文字	その他
小学部	62.7	78.0	14.0	35.3	14.0	56.0	17.3
中学部	60.0	89.2	12.5	47.5	2.5	72.5	8.0
高等部	56.3	93.8	10.4	60.4	1.0	78.1	12.5

表7 教科書等の教材の有無、活用の頻度、活用の状況 (小学部) (数値は%)

	教材の有無				活用の頻度				活用の状況				
	N	学校	個人	ない	N	よく 使う	時々 使う	使わ ない	N	その まま	加 工	自 作	使わ ない
1 検定教科書	147	97.3	1.4	1.4	149	89.9	4.0	6.0	149	71.8	19.5	3.4	6.0
2 聾学校 教科書	139	92.1	3.6	4.3	140	14.3	49.3	36.4	134	39.6	26.9	1.5	31.0
6 ワーク ブック	146	67.1	32.2	0.7	147	80.3	16.3	3.4	142	71.1	23.9	2.1	2.7
7 日本語教材	128	39.3	31.3	28.9	120	25.0	41.7	33.3	114	28.1	26.3	11.4	33.0
8 国語/漢和 辞典	144	95.8	3.5	0.7	146	43.8	38.4	17.8	136	72.1	10.3	0.7	18.1
12 図鑑	138	100.0	0	0	145	29.7	65.5	4.8	138	83.3	11.6	0	5.4
14 紙芝居	134	94.8	0	5.2	141	8.5	36.2	55.3	126	38.1	8.7	0.8	51.2
15 写真	139	80.6	15.8	3.6	145	51.0	47.6	1.4	108	57.4	23.1	16.7	2.0
17 カレン ダー	136	91.2	8.1	0.7	143	47.6	43.4	9.1	139	61.2	20.1	9.4	9.5
18 絵日記	130	59.2	30.8	10.0	138	43.5	32.6	23.9	130	43.8	20.8	10.8	24.6
20 広告等	131	79.4	13.0	7.6	138	3.6	46.4	50.0	133	30.1	20.3	0.8	46.5
24 Web 情報	141	91.0	4.5	4.5	145	26.2	51.0	22.8	138	38.4	37.0	1.4	25.0

表8 教科書等の教材の有無、活用の頻度、活用の状況 (中学部) (数値は%)

	教材の有無				活用頻度				活用の状況				
	N	学校	個人	ない	N	よく 使う	時々 使う	使わ ない	N	その まま	手を 加え	自作	使わ ない
1 検定教科書	120	100	0	0	118	93.2	3.3	3.4	116	74.1	22.4	0	3.4
2 聾学校教科書	111	86.5	2.7	10.8	110	4.5	34.5	60.9	97	23.7	21.6	0	54.6
5 電子教科書	101	12.9	0.9	86.1	82	2.4	11.0	86.6	71	9.9	2.8	0	87.3
6 ワークブック	114	61.4	36.8	1.8	116	67.2	29.3	3.5	109	65.1	30.3	2.8	1.8
8 国語/漢和辞典	115	93.9	6.1	0	117	61.5	36.8	1.7	111	95.5	2.7	0	1.8
10 手話辞典	110	97.3	2.7	0	114	18.4	54.4	27.2	107	70.1	3.7	0	26.2
15 写真	107	71.0	21.5	7.5	111	26.1	56.8	17.1	105	32.4	39.0	7.6	21.0
19 新聞	105	90.5	5.7	3.8	112	19.6	67.0	13.4	104	40.4	42.3	0.9	16.3

表9 教科書等の教材の有無、活用の頻度、活用の状況（高等部）（数値は%）

		教材の有無				活用頻度				活用の状況				
		N	学 校	個 人	な い	N	よく 使う	時々 使う	使わ ない	N	その まま	手を 加え	自作	使わ ない
1	検定教科書	95	99.0	0	1.1	95	88.4	6.3	5.3	93	81.7	11.8	1.1	5.4
6	ワークブック	94	62.8	36.2	1.1	90	60.0	35.6	4.4	85	49.4	45.9	0	4.7
8	国語辞典、漢和辞典	94	83.0	17.0	0	92	68.5	30.4	1.1	86	98.8	0	0	1.2
14	写真	92	57.6	29.3	13.0	89	11.2	61.8	27.0	85	29.4	35.3	8.2	27.1
18	新聞	91	86.8	9.9	3.3	92	26.1	63.0	10.9	87	34.5	50.6	2.3	12.6
23	Web 情報	87	91.0	8.0	1.0	90	22.2	62.2	15.6	85	40.0	43.5	0	16.5

表10 小学部国語科で活用する教科書等の自作教材等 N=38 ()内は回答数

A 用途	B 教材例	C 用例等	
教科書の内容に関する教材 (8)	手話 DVD 本文や挿絵の拡大版 物語スライド (パワーポイント) リライト教材文	物語や説明文を手話表現したもの 物語の場面毎にスライドを作成、登場人物の動きも提示する。 物語文の読み取り、概要把握のため導入で活用、ルビ付きにする。	
	文章の内容理解	パネルシアター お面 写真、絵カード 模型	導入で見る活動で使用 動作化で使用 本文の意味理解で活用 説明文の読み取りで操作する。
教科書の内容理解を促すための教材 (19)	語彙／漢字の理解と定着	言葉プリント 漢字プリント 言葉絵カード 言葉学習用プリント	単元から語彙を抽出し、写真や絵を添えて解説したもの 漢字の練習、用例を書く 絵と裏に名称と文例 難語句の意味と短文作り、ひらがなやカタカナ練習用、濁音プリント
	読解	言葉ノート ワークシート	全教科共通で新出語句の意味と使い方を書く 学習した内容の理解、学習の流れの理解、場面の様子、人物の行動や気持ち、実験と結果、確認や宿題用の読解等
発展や補助のための教材 (1)	作文集、読書感想文集、新聞や感想文の書き方の本	過去の作品として参考にする、教材文として活用	
国語科に関連する言語活動や言語事項に関する教材 (10)	作文メモノート	作文のためのメモ帳	
	絵日記	毎日の体験を写真と文章でまとめる	
	生活文 新聞ノート	身近な出来事やニュースを読み取る 記事の要旨と感想、記事のスクラップ	
	ひらがなカルタ、パズル なぞり型パズル (タブレット型 PC) 文法学習教材	五十音の学習 漢字学習用アプリ 5W1H、動作語、文の構造、動詞の活用、助詞等	

表11 中学部国語科で活用する教科書等の自作教材等 N=75 ()内は回答数

A 用途	B 教材例	C 用例等
教科書の内容に関する教材 (6)	本文の拡大版 パワーポイント資料	読み間違いがないかを確認する。 授業の補助となる写真や絵をパワーポイントにまとめたものを用い板書とする。 漢詩の朗読CDを字幕と組み合わせたもの。中国語の発音や音韻について知らせる。

	リライト教材文 手話 DVD	教科書に合わせた、リライト文や問題等 長い小説の面白さを伝えるため、最初に全部を見せ、 大まかな把握をさせる。途中細かく分けて使うこともある。
文章の 内容理 解 (6)	ペープサート 詩歌集・詩集 古典のマンガ版 パワーポイント資料	内容理解を促すため 教科書の課題が難しい時、関連のある作者や内容で平易な言葉づかいのものをもって来る。(解説を加える) 導入段階で全体のイメージを持たせるために使う。 各単元でつくった、文章提示(内容の理解を深めるための)写真や絵等の提示のためのもの。
	語彙プリント 意味調べ用ワークシート 辞書学習用教材プリント 語彙や漢字の理解・定着 (12)	本文の大切な表現、意味調べ、例文作りに活用する。 単元の導入の際に、意味のわからない語句を確認させ、ページ、行、読み方、意味、反対・類義語、短文を書かせる。 多義語の意味の調べ方を学習するために、文脈に合った意味を3択の中から選ぶ。 より多くの言葉の習得のために絵や写真の多い資料集を活用している。 新しい単元に入った時に1時間目に確認する。 実用的あるいは理解できる例文に作りかえて、練習やテストとして使う。 熟語を作らせたり、漢字と読みを対応させたりする。 漢字の成り立ち、四字熟語等(主に漢字や文法)
教科書 の内容理 解を促すための教材 (23)	漢字の読みカード パワーポイント資料 重複用(手作りの)マッチングプリント、文字練習プリント	漢字の成り立ち、四字熟語等(主に漢字や文法) 日本語と事物のマッチング学習時、ひらがな学習時に利用している。
	ワークシート	教科書の進度に合わせて、理解を助けたり、構造的に読み取るためのワークシートを作成している。 障害や生徒の実態に合わせて、書く量を減らすことを目的にして、教科書を要約したようなプリントを毎時間使う。
読解 (5)	読書感想文入選作品集、作文集等 国語の便覧	構成や書き出し、タイトルの工夫、内容、視点の持ち方、考え方などを参考にする。 作者や作品の背景、他の著作、詩・短歌・俳句の表現技巧、作文の書き方等を知る手がかりとして活用。 古典や漢文、小説など、時代背景の理解に活用したり、語句の学習や文法の学習にも活用。
	詩集、短歌・俳句、小説 随筆等の作品集	好きな詩や言葉を見つける、視写する、発表する等の活動の際に活用。 教科書の詩の学習に入る前に活用。
発展や補助のための教材 (28)	高齢聴覚障害者の戦争体験 DVD 学習マンガ	戦争の教材(教科書)を扱う際に活用。 古典文学の作品紹介や、場面のイメージをつかませるために利用する。マンガ自体は事前には読ませず事後に読ませることが多いが、対象の子どもによって使い方は変える。
	単元に関する内容が書かれた本 作文手引き	様々な本に触れあい、視野を広げることを目的とする。 作文を書く手順や構成の仕方等が分かるようにワークシートにして書き込ませる。
	原稿用紙の書き方(パワーポイント資料、ワープロ機能)	作文指導の時に、提示して説明する。 作文の添削や推敲の際に活用。(入れ替えやつけ加え、削除が楽)

国語の関連する言語活動や言語事項に関する教材(18)	百人一首(パワーポイント)	読み手の声の代わりに、一字一字画面に写し出してゲームをする。
	テレビ番組の録画	古典で活用。
	作文構成表	構成表、語彙表(行事に関係した語彙)を用いて行事作文を書かせる。
	新聞記事、投稿文	要約や感想を話したり、書いたりする際に活用する。語句の意味を知る。ニュースを知ろうとする姿勢を身に付ける。出来事の一つ一つを上位概念につなげる際に活用。
	四コマ漫画	漫画の状況の説明や要約を話したり、書いたりする
	ことわざ、四字熟語プリント	一定のルールが視覚で分かるように表示したワークシート。
	動詞プリント	文と絵(場面)を結びつけて覚えるようにする。(例)・肩をたたく・ドアをたたく・太鼓をたたく。
	ことばのプリント	助詞、接続詞など文法の自作プリント
	文法(品詞)カード	品詞分類表に貼ったりはがしたり(マグネット付)してくり返し使用。
	受け身ドリル(自作教材)	絵を導入し、段階に応じた問題を作成し、一冊のドリルとしてまとめた。
口語文法の活用表	口語文法指導の時に、提示して説明する。	
「国楽帳」(漢字の読み書き、読解、言語事項の問い)	新聞の切り抜きから生徒が問題を作り中学部全員が毎日1枚その問題を解く。	
対義語、類義語ドリル	語彙の拡充	
文法学習用プリント	読字力検定を参考にして作成。指導事項の定着の確認のため活用。	

表 12 高等部国語科で活用する教科書等の自作教材等

N=75 ()内は回答数

A 使途	B 教材例	C 用例
教科書の内容に関する教材(6)	新聞記事(読者投書欄、特に十代の若者の投書)	教科書を活用して授業を進めることが困難な学習グループで使用している(論説文にかえて)。新聞記事を読み、漢字、語句の意味確認、読解を一連の学習活動として行っている。
	学校採択以外の教科書 小説、随筆、詩、意見文、現代詩、古文(漢文)等	教科書の教材が生徒の実態に合わない時に活用。(平易な内容のものや発展的な内容)読書教材として活用。
	パワーポイント資料	教材文を投影させるための教材を作成し、活用。
教科書の内容理解を促すための教材(23)	教育テレビなどで放送した特別番組のBDディスク	情景の理解の補助教材として。
	プリント、ワークシート	日々の授業で使用する。生徒の実態や状況に合わせて作成している。
	小論文 題材、資料収集 寝殿造りの基礎知識、百人一首の謎、絵巻の見方・扱い方等	調べ学習として活用。 教科書や問題集にはない背景的な部分での補助教材を自作して使用している。学習の動機付けに利用することが多い。(特に古典・漢文教材として)
	語彙や漢字の	ことわざ等、マンガ辞典 語彙カード

理解・ 定着 (12)	語彙の学習(国語便覧より) 敬語、漢文(返り点等)学習用コンテンツ	国語便覧をもとに、類義語、対義語、四字熟語、ことわざ、慣用句などのワークシートを作り、苦手な部分の補充をする。 ネット上に公開されているコンテンツの活用
発展や補助のための教材 (28)	短編小説、エッセイ、随筆、単行本、雑誌、論説文、新聞のコラムや論説 古典、漢詩、詩、俳句、和歌 古典の自作教材	小論文を書かせる際の題材として、短く、平易な表現のものを選択して活用。 読解の教材として自作したり、参考にする。 単元の補助教材、発展教材として活用。 導入のところで、よく知られた昔話や説話文学を活用し、生徒に興味・関心をもたせている。
	他校の生徒会誌、作文コンクール の入賞作品集 日記(学習グループ内で共通する 話題やできごとがあった時)	生徒の読み易い作文を取り上げ、読解の練習に用いている。 学習グループ内で全員が経験したことや、心に残るできごとがあった場合、読み物教材として提示し、読みとれているか、確認する。
	物語(絵本)	行事と関連づけて、実施。文字のみの文章を作成、ワークシートを作成し、絵本を補助として使用。古典や戦争教材の理解を促す時に活用。
	自作プリント、ワークシート	単元の補助教材又は発展教材として活用。
国語の関連する 言語活動や言語 事項に関する教材 (18)	文法の基礎、敬語、慣用表現の視覚教材 漢字の成り立ちカード&四字熟語カード 文法、語句、国語表現、動詞活用などの教材(テキスト、カード、プリントなど)	パワーポイントを活用して、教科書で扱うとき補助教材として使用。 漢字検定資格取得、語彙習得学習のために活用。 生徒の実態や苦手分野に合わせて作成し、活用。
	序数詞を学ぶ(スクラップ帳)	さまざまなものの絵(カット集などからコピー)を見て、数えさせる。
	わかりやすい文章を書くための十ヶ条 新聞記事、社説、コラム(記事そのものや参考にした自作プリント) 市販の問題集(大学入試小論文、評論問題集、就職試験問題) 課題プリント	作文を書かせる際には、ポイントを明確にするため、自作プリントを使用する。 要約、感想文、報道の仕方、視野を広げる等で活用。 入試や就職に向けた小論文課題等で活用。 様々な評論に触れ、視野を広げる。 単元の補助教材として、就職試験、大学入試に向けて

表 13 市販テストの活用状況

(数値は%)

	いつも活用	時々活用	活用していない
小学部(N=150)	60.7	20.7	17.3
中学部(N=120)	21.0	39.5	39.5
高等部(N=96)	13.5	52.1	31.3

表 14 小学部でよく活用する自作テスト、評価用教材等 N=36

活用場面	回答数	内容
単元、本時の学習評価で活用	27	自作テストやプリント（単元、本時の学習内容の確認、漢字や語句の確認）、市販の漢字テスト
国語科に関連する言語事項に関する評価で活用	4	市販の国語ドリル（日本語の使い方や文法）、自作プリント、動詞や形容詞の活用表
学年のまとめ 全体的な傾向の把握	5	読書力診断検査、J,Coss 日本語理解テスト、標準学力検査 CRT（教研式）、NRT テスト

表 15 中学部でよく活用する自作テスト、評価用教材等 N=46

活用場面	回答数	内容
単元、本時の学習評価で活用	36	漢字テスト、漢字練習プリント、自作テスト（本時、単元、定期テスト）、自作ワーク（本時、宿題、自習）、ワーク（電子データ）、自己評価シート、ビデオ映像、イラスト（授業のまとめをイラスト化）
国語科に関連する言語事項に関する評価で活用	9	ことわざ自作テスト、ディベート採点表、リスニング・テスト（字幕提示）、10 問書き取りテスト、全校漢字テスト、漢字検定教材や問題集を参考にしたテスト、ことばの基礎に関するドリル
学年のまとめ 全体的な傾向の把握	1	読字力テスト

表 16 高等部でよく活用する自作テスト、評価用教材等 N=76

活用場面	回答数	内容
単元、本時の学習評価で活用	68	自作テスト（本時、単元、定期テスト）、漢字テスト、漢字練習プリント、自作プリント（復習、問題集、本時のまとめワークシート）
国語科に関連する言語事項に関する評価で活用	8	漢字テスト、過去に間違った問題や苦手分野の問題をまとめたテスト
学年のまとめ 全体的な傾向の把握	0	

表 17 あると良い教材（自由記述：小学部） N=63

教材の種類	教材名・内容	活用場面や方法
手話 DVD (5)	教科書対応、専門的な知識を持つ表現者による手話 DVD	教材文（特に物語文）の内容の把握、イメージ作りに活用。
教科書本文と挿絵の電子データ (4)	電子データ（拡大、加工可能な物） 拡大印刷した物 会議用ホワイトボードシートに教科書本文が拡大印刷されている物	物語文で活用、書き込みできると良い。書いてあることを抜き出したり確かめたりするのに便利。
	電子教科書 手話に対応したデジ図書	市販のものは高額のため、簡易なものがあればよい。 音声、文字、手話がセットになっていると確認や自学がやりやすくなる。

教科書とは別の教材 (読解指導) (3)	児童が書いてある文の内容をイメージできるようなイラスト入りの長文	高学年になるほど内容が抽象的で、文に抵抗を示すようになる。少しでもヒントを与えるようなイラスト入りの文章(物語)があればと良い。
	生活文の読みとり教材	いつも生活文を自作しており、クラスの児童の実態が異なるため、3通り作っている。いろいろな言語段階に応じた日常的な文~ニュースの内容的なこと等いろいろな話題の短い読みとり文集があるとよい。
	知的障害を伴う重複の児童用の教材集	聴覚のみの障害のある児童もいるので、多様な段階に対応した教材、教具は必要。
教科書の補助教材 (7)	教科書に出てくる語句を子どもに分かりやすく解説している教材(図・写真が多いもの)	授業で読解を進めていく際、使いたい。
	教科書に対応した新しい言葉、漢字の意味解説や単語の絵つきカード	意味が絵を見て理解しやすくする。進出漢字や熟語の学習で活用。
	動詞等の言葉を映像化したもの	教科書本文や会話等の中で、分からない言葉を、動作化したり、映像化した教材教科書に出て来た文法事項の説明に役立てられる。
	文法事項がコンパクトにまとめられた表	
辞書に関するもの (2)	デジタル手話イラスト集	手話の確認、教材を作成する際に活用。重複児童への教材作成で困ることが多い。
	言葉の意味と映像写真辞典	言葉の意味を文だけでなく写真や、動画などで、調べることができる。
評価に関するもの (7)	授業振り返りシート	授業を終えて、児童が自分で何を学べたかを振り返られるもの。記入することで、学習したことを児童が確かめられるようにする。
	段階別になった文法テスト、文法教材と一覧表	小学部~高等部までが系統的に使えるような、品詞ごとの教材を活用し、定期的にテストも行い、合格したら次のステップへ進むことができるようにする。実態把握のため活用。
	副詞の一覧と評価のためのプリント	教科書に出てくる文法表現などを重点的におさえるために使用する。意味と使い方ができるかを確かめる。
	学年(段階)ごとに各品詞の達成度(定着度)が評価できるチェック表	一人一人の各品詞の定着度を確認し、弱点(重要事項)を把握して、以後の指導に活用するため
	語彙表	品詞ごとに「読み理解」「手話理解」「文字表現」「手話表現」の実態を確認したり、共有したりする。次にどのようなことばに広がっていくのかの見通しをもつ。
文法事項の指導に関するもの (22)	分かりやすい動詞、形容詞、感情を表す言葉の活用表	文法理解、テスト、読み書き、日常会話などあらゆる場面で評価や指導で利用する。
	動詞の活用がわかりやすい動画(アニメーション)	文法の学習で使用する。
	助詞の種類と意味が書いてある表	児童が自分で表を見て、書く時や話す時に活用できるようにする。
	助詞の使い方の理解を深める教	言語の学習の時間に。

	材（ドリル、活用表、例文表） 能動態、受動態の活用表	文法理解。「～する。～される。」の理解がしやすいツールとなるもの。
文指導に関するもの (3)	児童に分かりやすい指示語の表 文章を拡充していくためのドリル的なもの	例えば、ある場面を挙げ、お風呂に入る自分の日常を振り返りながら文をつないでいく形式のもの。「はじめに電灯をつけます。暗いと〇〇だからです。（感情表現も含む）」 作文を書く時や、発表する時と、普段の会話での話し方を使い分けられるようにする。
	話し言葉と書き言葉のちがいを理解できるテキスト 構造的に考えることができる、文のパズル	
語彙指導に関するもの (9)	ことばの意味に限った問題集	日常使うことばでも、誤った意味で、使っていることがある。意味調べやその記憶にとどまらず、定着させるために活用する。
	敬語の表(拡大・掲示できるもの)	小5国語の敬語の学習で活用する。また、他学年でも言葉の使い方を確認するために使える。
	絵とことばと手話、3位一体の表	日常生活でよく使われる絵とことばと手話が一緒になった表があれば、手話→絵→ことばの順で日本語を指導しやすい。
	動詞、名詞、形容詞、副詞など、各品詞について、その学年でおさえたい語彙の短冊	文作りにおいて、なかなか自分で書くことができない子どもにも活用させる。掲示しておけば、くりかえし確認もできる。
	動詞、形容詞、心情を表す言葉の絵とことばのカード(絵と文字)	言葉で確認する前に絵でイメージをつくったり、絵を見せておいて、あてはまる言葉を考えさせたりする。
	名詞、形容詞、動詞別の語彙を増やすプリント 気持ちのことばのチャート図	宿題や朝学習で日常的に使う。 うれしい、楽しい、かなしい、くやしい...など、気持ちを表すことばと表情や状況などが分かる図。
その他(1)	気持ちを表す言葉、言い回しの表	「うれしい」「悲しい」などの単純な表現だけでなく、様々な言い回しがあることを知り、児童が日記等で活用できる物。
	実物投影機	教科書を拡大して提出し、大切なところ等を全員で確認する。 児童がノートに書いた考え等を発表する際に活用する。

表 18 あると良い教材（自由記述：中学部）

N=51

教材の種類	教材名・内容	活用場面と方法
手話・字幕付きDVD(5)	手話 DVD(検定教科書対応)	検定教科書に掲載されている教材の翻訳DVD
	字幕付き・手話付き DVD(朗読、古典作品、国語科に関連する映像番組や作品等)	映像に合わせ音声も字も同時に理解できるもの。朗読付(音声)、文字がカラオケのように色がかかるもの。 作品に対するイメージ作り、意欲や興味・関心を高めるために活用。

教科書に関連するもの (9)	電子教科書 (現行の物、改良への要望) 教科書本文、教科書に掲載される文章や写真等全ての電子データ 教科書の本文(拡大印刷物)	写真、絵等の豊富なデータ、漢字指導用のデータ、文章の内容理解を深められる工夫等が備わったものを望む。 書き込みと印刷が可能な物を望む。 ふりがな付きのデータだと良い。 指導書に本文の電子データはついているが、横書きのテキストのため、加工しなければならない。 必要な箇所を選択して提示する。 授業中に掲示し、板書と合わせて活用。
教科書とは別の教材 (読解指導) (2)	検定教科書のリライト文(3段階レベル)(電子データ版) ろう学校教科書	言語力のレベルの違う生徒を想定し、いくつかの段階のリライト文があれば、生徒の実態に合わせ、文章を編集し、教科書として使える。 準ずる教育として、中学校で使用しているものとは別の、中学校同等の学力をつけることのできる、ろう学校のために編集された教科書。
教科書の補助教材 (3)	物語や、説明文など教科書の内容が絵(動画)になったものの。 映像 DVD 教科書の文にあったイラストのデータ	読解をしたあとに、目で見ても確認できる場面があると助かる。 教材に出てくる光景や物、動物等を提示する。 教科書に関連した映像データがあると、より分かりやすく提示できる。
辞書に関するもの (1)	手話の動画辞典	手話の学習で使う。
評価に関するもの (26)	問題集やテストの電子データ版 指導書にある問題やワークシートの電子データ 聾学校対象の国語アチーブメントテスト 読字力検定に出る単語の意味を映像で映せるもの	授業の演習で使う。生徒の実態に合わせ、問題を編集して、一人一人に合った学習や評価を行う。 テスト作成や授業時の発問に使う。 家庭学習、予習・復習の課題として活用する。 授業の演習、復習、評価で使う。 年に1回、到達度評価をみるために、聾学校を対象とした国語のテストがあるとよい。(全国模試の聾学校版) 読みを覚える、単語の意味をイメージできるように学習する。
文法事項の指導に関するもの (1)	文法事項 (助詞の使い方など) のデータ版	くり返し学習することで助詞の使い方を自然に身につける。
語彙指導に関するもの (2)	語彙の用法、意味のデータ版 映像	段階的に語彙力をつけていけるように進める。 例「見る」「注目する」「見つめる」「ながめる」「見渡す」などがわかるようなビデオがあれば、先生が一人で実演するより、わかりやすい。
その他 (2)	プラズマディスプレイ 各教室毎に設置されたプロジェクタ、スクリーン等	文章、写真、図、地図等を示し、学習の理解や動機づけを生かす。 本文を投影し音読時等に使用する。

表 19 あると良い教材（自由記述：高等部）

N=35

教材の種類	教材名・内容	活用場面や方法
手話・字幕付き DVD (8)	教科書対応手話 DVD	教科書の内容をろう者の感覚でとらえられるようにする。 内容理解、確認のために活用。
	教科書対応 DVD (字幕、手話付き) 字幕つき映像（文学作品、古典作品、関連する映像） 教科書に載っている作品の手話つき DVD や作品に出てくる用語の手話辞典	文字、ことばだけでは、内容をつかみにくい生徒に。大まかな話の流れをつかむため。 導入と全体像の把握(特に学力に課題のある生徒を対象)事前学習や導入などで映像を見せるとき、字幕があると分かりやすい。 高等部の国語(教科書レベル)になると手話辞典にそのまま出ているものが少ないので、作品ごとに手話での表現の方法とかを示す物があると良い。
教科書本文と挿絵の電子データ (4)	全部ふりがな付き本文 電子黒板とそれに対応した教科書のデータ	視覚による読みの確認、学習の効率化のため 長文読解において、文章の構造の説明等に使用したい。教材を映し出し、その上に自由に書き込みができるもの。（書き出したものが印刷できると更によい。）
教科書の補助教材 (3)	同一教材におけるリテラシー文 デジタル資料集	同一教室において能力差がある生徒の指導に使用したい。 資料集に載っている写真データをディスプレイに出し、説明や話し合いに使えると、共通画面に集中することができる。
辞書に関するもの (2)	漢文、古文、文法学習用コンテンツ	小テスト代わりに、短時間で知識の確認ができかつ、基礎的な事項を指導する際にも活用できるもの。
	手話表現と国語の関連が視覚的にとらえられるもの。(DVD など) 抽象概念を表す手話の違い	品詞毎に手話を学ばせる。(例)形容詞、接続詞、副詞、ボキャブラリーを増やすためにも、日本語の微妙なニュアンスを伝えるという意味でも必要。) (例)1.進歩、進化、発展、成長 2.文明、文化 3.伝統、しきたり、歴史、由来...細かい相違を表したもの。
評価に関するもの (4)	単元別の評価規準表 テスト 問題作成システム シート、教科ふり返り 作文の評価表	単元ごとに評価規準がまとまったものがあれば、定期的に評価を実施することができる。 加工可能なデータ（教科書に沿ったもの）があり、必要に応じて加工し、テスト問題として形式を整えられるもの。 聾学校の生徒を指導する際に、国語の教科として留意して指導すべき点をまとめたもの。 生徒が自分の課題(作文に関する)を理解するために、作文の評価の際に用いる。
文法事項の指導に関するもの (5)	英語の品詞と日本語の品詞との（文法）共通教材 日本語の文法力を向上させるドリル(高校生向け) 文法・語彙のテキストやワークブック	日本語の品詞分解をする時に英文の文法との共通点を思い出せるもの。助詞の意味など。 小学生レベルのものはあるが、それ以上の適当なものがない。単に敬語を覚えるといったものでなく、助動詞、助詞の適切な使い方を押さえつつ、文章力読解力を向上させるものがあるとよい。自立活動や国語の授業で使いたい。 高等部の生徒のレベルに合ったものがあれば、特に国語表現 I の学習の中で使用したい。 イラストを使ったわかりやすい文法や敬語のテキストがあると、生徒の理解が進むと思われる。 聴覚障害者の発達段階に合った文法の体系をまとめたテキストまたはテストがあればよいと思う。

作文指導 (1)	書く力を育てるもの	短い文しか書けない生徒が多いので、書きたいという意欲がわくような内容のもの。
読解 (2)	<段階的にステップアップできる>「国語」の問題集 長文読解のワーク	小学校や中学校レベルの読解力や漢字力をつけたい場合、市販のものでは学年(例:小3など)が明記されており使いにくい。高校生用をそのまま使用すると、語彙が不足している生徒には内容が難しく使えない。中1から中2程度で学年が印刷されていないもの。(生徒の自尊感情を尊重)
語彙指導に関するもの (5)	語彙カード 日常生活で使用する語彙指導教材やテスト 対義語、ことわざ、慣用句、四字熟語カード 敬語に関する問題集や教材	授業での復習や語句の定着を図るために活用。日常で使うことば(教科書ではあえて習わないような)の習得の程度をはかれるような教材またはテスト 言葉の学習で、ゲーム形式で楽しく、くり返し使用する。 市販のものは、問題練習のみで、生徒にわかりにくいこともある。もっと場面や状況を限定して、使うことばを考えさせるものがほしい。
その他 (1)	プレゼン用教材 日本語学習用音声P Cソフト(外国語として発音・聞き取りの練習をするもの)	聴覚障害者がプレゼンを必要とした場面で使用できるもの 発音・聞き取り練習